

北海道作業療法士会 自助具コンテスト 応募作品の概要

*A4 用紙 3 枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

<p>作品の名称</p>	<p>※20 文字以内で記入 ビーニーエイド</p>
<p>対象者の 領域</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 身体障害 (○)、精神障害 ()、発達障害 ()、高齢者 ()、 その他 ()</p>
<p>自助具の 分類</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 食事動作 ()、整容動作 ()、更衣動作 (○)、排泄動作 ()、入浴動作 ()、 コミュニケーション ()、趣味・余暇活動 () その他 ()</p>
<p>用具の種類</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 工夫・改良品 ()、個別製作品 (○) ※ 工夫・改良品市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、個別製作品アイデアから個別に製作したオリジナルな物、とする</p>
<p>応募作品の 概要</p>	<p>※作品の目的や効果、特徴、新規性・独創性（オリジナリティー）などを簡潔に記載する。</p> <p>肩関節と頸椎の可動域に制限があり、帽子を一人でかぶるのが困難な方を対象とした自助具である。半円形のハンガーと 2 本の長い持ち手を組み合わせた構造で、これを使用することで、肩関節の挙上および頸椎の屈曲が困難な方でも介助なしでニット帽（英語でビーニー、beanie と呼ばれる）を身に着けることが可能になる。</p> <p>ハンガー部分にニット帽をはめてから、持ち手を使って頭上にニット帽を置き、持ち手を引き下げることで簡単にニット帽をかぶることができる。ソックスエイドの発想を応用したものだが、帽子を対象とした自助具は応募時点で調査した限り市販されていなかった。</p> <p>本作品の特徴は、帽子そのものへの加工は不要という点である。柔らかな素材で頭に密着する帽子（ビーニー）ならどんなものにも使用可能であり、その日のファッションに合わせた帽子を選んでおしゃれを楽しんでもらうことができる。</p>
<p>工夫した ポイント</p>	<p>誰にでも手軽に作成できることを重視し、安価で簡単に手に入る市販の材料を活用した。</p> <p>ニット帽をはめるハンガー部分は針金ハンガーを加工しており、使用者の頭囲にあわせて自在に調整可能である。2 本の長い持ち手部分はスマートフォン用のアームスタンドを使用し、ハンガーと各持ち手部分の固定にはビニールテープを使用した。</p>
<p>利用上の 留意点</p>	<p>※使用上の注意点、耐久性、衛生面といった留意点を記載する。</p> <p>ハンガーと持ち手部分はビニールテープで固定しているが、繰り返し使用することで固定が緩むなど破損する可能性はある。また、針金ハンガーのフック部分は取り除き、切断面をビニールテープで保護して安全面に配慮しているが、テープが劣化した場合は速やかに補修が必要である。</p>

作
製
の
準
備

※使用材質、道具、工具、材料費、などを記載する。

以下の材料はいずれも 100 円ショップで購入した。総額 440 円。

- ・針金ハンガー (110 円)
- ・スマートフォン用クリップ付きアーム (110 円×2 台)
- ・ビニールテープ (110 円)

ハンガーのフック部分を切断するために、ラジオペンチを使用した。

応
募
作
品
の
特
徴

※作品の外観、作り方・製作過程、活用場面について写真と説明文を用いて記載する。

※画像は最大 10 枚とし、自道具の特徴や使用状況が分かるような写真を使用する。

1. 作品の外観



2. 作り方・製作過程

- ① 針金ハンガーを変形させて、半円形にする。
- ② 針金ハンガーのフック部分をラジオペンチで切断し、断面にビニールテープを巻く。
- ③ スマートフォン用アームを 2 本用意し、アーム部分を直線状に伸ばす。
(クリップ付きアームの部分のみを活用し、スマートフォンを固定する部品は使用しない)
- ④ 2 本のアームの間に、半円形にしたハンガーをビニールテープで固定する。



(参考)

試作段階では持ち手に市販の突っ張り棒を用いたものも製作したが、直径が細いため強度が足りず持ち手として安定しなかった (右図)。

スマートフォン用のアームは、本作品の目的からするとクリップ部分が不要ではあるものの、強度と長さが最適と判断して採用した。



3. 活用場面



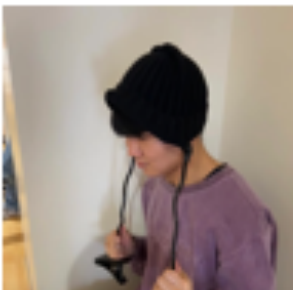
① ハンガーに帽子を装着する。



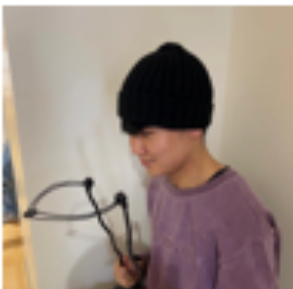
② 持ち手を使って、帽子を持ち上げる。



③ 帽子を頭上に合わせる。



④ 帽子を頭にフィットさせながら、持ち手を引き抜く。



⑤ 着用完了。

持ち手の操作に慣れるまで数回練習を要したが、その後はスムーズに着用できるようになった。

応募
作品
の
特徴

<写真の使用に関して> ※該当する項目()に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている (○)、対象者に同意を得ていない ()、該当せず ()

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。